

宮崎県



形式H (医療、福祉)

産業廃棄物実態調査票  
(令和3年度実績)【その1】

1. 本調査の対象期間は**令和3年度**（令和3年4月1日～令和4年3月31日）の1年間です。  
なお、質問によっては、別の期間を指定する場合があります。
2. 本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関して以下の質問にお答えください。
3. **産業廃棄物等(事業所で不要となり、有償で取引されたものを含む)**が調査の対象期間中に**何も発生しなかった場合**、本調査票【その1】の「**事業所の概要**」、「**事業の概要**」欄をご回答いただき、「**廃棄物等発生の有無**」欄を「**2. 発生しなかった**」に○を付けてご返送ください。
4. 本調査における**汚泥の発生量**は、**脱水機投入前の濃縮汚泥の量**を記入してください。
5. 別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考にしてください。
6. 電子マニフェストを利用されている事業所は、別途調査票（簡易版）がございますので、**㈱グリーンエコ（調査機関）**へお問い合わせください。

事業所の概要	事業所名			
	所在地	〒 -		
	業種	医療・福祉業	主な診療科目	
	ふりがな			
	記入者	部・課名 :	氏名 :	
	電話番号	- -	FAX番号	- -

事業の概要	従業者数（全事業所記入）	病床数（医療機関のみ記入）
	貴事業所の令和4年3月31日現在の従業者数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入してください。	貴事業所（医療機関）の病床数を記入してください。
	人	床

廃棄物等発生の有無	令和3年度の1年間に産業廃棄物等（事業所で不要となり、有償で取引されたものを含む）は発生しましたか。該当する番号に○を付けてください。	
	1. 発生した	2. 発生しなかった

産業廃棄物等が発生していない事業所に対するアンケートはここまでです。このままご返送ください。

別紙「調査票の記入要領・記入例」を参考に、**本票裏面の「調査票【その2】」に貴事業所から発生した廃棄物等の状況について記入してください。**

なお、この調査では廃棄物等の発生から中間処理、さらに最終処分（埋立処分あるいは再生利用）されるまでの一連の流れを把握するため、以下の項目についてお尋ねしています。

- 事業所で不要となったものを「売却」している場合（廃棄物等に該当しない場合もありますが、調査の対象としています。）
- 事業所内もしくは処理業者・廃品回収業者などで再生利用（リサイクル）している場合
- 処理業者に焼却や破碎などの中間処理を委託している場合
- 処理業者に埋立処分を委託している場合
- 事業所内で何らかの処理を行い、自社処分している場合
- 処分せず、保管中の場合
- 事業所内で何らかの処理を行い、処理業者に処理を委託している場合



## 〈調査票の記入要領・記入例〉

- ※ この資料には、調査票の具体的な記入例が記載してあります。
- ※ お手数ですが、この「記入例」を参考にして調査票にご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送くださいますようお願いいたします。
- ※ 本調査に関するお問い合わせは、(株)グリーンエコ(電話0120-341-296)へお願いいたします。
- ※ ご提出いただいた調査票の記入内容について、電話等により確認させていただく場合もありますので、必ず調査票の控えを取っておいていただきますようお願いいたします。
- ※ E-mailで回答される場合は、sanpai-miyazaki@gr-eco.co.jpへ送信くださいますようお願いいたします。

### 調査票【その1】の記入要領・記入例

■の部分、記入箇所です。記入例を参考にして調査票【その1】に記入してください。

事業所の概要	事業所名	△△△病院		
	所在地	〒××× - ×××× 宮崎市△-□□		
	業種	医療・福祉業	主診療科目	内科
	ふりがな	みやざきたろう		
	記入者	部・課名： ○○部 ○○課	氏名：	宮崎 太郎
	電話番号	□□□□ - □□ - □□□□	FAX番号	□□□□ - □□ - □□□□

事業の概要	従業者数（全事業所記入）	病床数（医療機関のみ記入）
	貴事業所の令和4年3月31日現在の従業者数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入してください。	貴事業所（医療機関）の病床数を記入してください。
	60人	100床

廃棄物の発生の有無	令和3年度の1年間に産業廃棄物等（事業所で不要となり、有償で取引されたものを含む）は発生しましたか。該当する番号に○を付けてください。	
	1. 発生した	2. 発生しなかった

「病床数」の記入について

医療機関の場合のみ記入してください。





# 廃棄物等分類表

※爆発性、毒性、感染性、腐食性などの有害な性状を有している産業廃棄物等は特別管理産業廃棄物として分類されます。

表 1：感染性廃棄物の分類表

種 類	分類番号	具 体 例
感染性産業廃棄物	2018	血液、血清、血漿、体液（精液を含む）、血液等が付着した鋭利なもの（注射針、メス、試験管、シャーシ、ガラスくず等）、血液等が付着した実験・手術用手袋等、病原微生物に関連した試験・検査等に用いられたもの（試験管、シャーシ等）、汚染物が付着した廃プラスチック類等

表 2：非感染性廃棄物分類表（産業廃棄物）

種 類	分類番号	具 体 例		
有機性汚泥	0211	検査室や実験室などの排水処理施設から発生する汚泥（し尿を含む浄化槽汚泥は除く）		
廃油	一般廃油	鉱物油	0311	冷凍機やポンプなどの潤滑油
		動植物性油脂	0312	入院患者などの給食に使った食用油（天ぷら油等）
	廃溶剤		0320	アルコール類、ケトン、洗浄油
	油でい		0340	タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカム
	油付着物等		0350	油の滲みたウエス、油紙くず、廃吸油材
廃酸	無機性の酸性廃液		0401	ホルマリン、その他の酸性の廃液
	レントゲン写真定着廃液		0402	レントゲン写真定着廃液
廃アルカリ	アルカリ性廃液		0501	検査廃液、その他のアルカリ性の廃液
	レントゲン写真現像廃液		0502	レントゲン写真現像廃液
廃プラスチック類	0614	合成樹脂製の器具、レントゲンフィルム、ビニールチューブ、その他の合成樹脂製のもの		
木くず	0802	パレット、パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材		
ゴムくず	1100	天然ゴムの器具類、ディスポーザブルの手袋など		
金属くず	鉄くず		1210	鉄くず、スクラップ（主体が鉄製の場合）、ブリキくず、トタンくず、空き缶（鉄製のもの）
	非鉄くず		1220	銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶
	混合金属くず		1230	自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	ガラスくず		1310	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラスウール、ガラス食器、光学レンズ、理化学用ガラス器具、薬品ビン
	陶磁器くず		1320	ギブス用石膏、陶磁器の器具、その他の陶磁器製のもの
	コンクリート製品くず		1340	コンクリート製品くず
ばいじん	1800	電気集じん器捕集ダスト、集じん器捕集ダスト		
上記以外の廃棄物				
紙くず	0701	印刷用紙、段ボール、コピー用紙、雑誌、新聞紙		
生ごみ（厨芥類）	1003	調理くず、食堂の残飯、弁当の残飯、茶殻など		
紙おむつ	9080	紙おむつ（感染症法の分類に従って、感染性でないと判断したもの）		
蛍光灯	4013	蛍光灯		
水銀使用製品産業廃棄物	2102	水銀体温計、水銀式血圧計等原材料の一部に水銀を使用して作られた製品		

表 3：非感染性廃棄物分類表（特別管理産業廃棄物）

種 類	分類番号	具 体 例		
引火性廃油	0318	揮発油類、灯油類、軽油類		
腐食性廃酸	0408	水素イオン濃度指数〔pH〕が2.0以下の廃液		
腐食性廃アルカリ	0508	水素イオン濃度指数〔pH〕が12.5以上の廃液		
産業廃棄物 特定有害	特定有害汚泥		0219	特定有害物質を含む汚泥
	特定有害廃油		0319	特定有害物質を含む廃油
	特定有害廃酸		0409	特定有害物質を含む酸性廃液
	特定有害アルカリ		0509	特定有害物質を含むアルカリ性廃液
	特定有害ばいじん		1809	特定有害物質を含むばいじん
	特定有害水銀等		2103	特定施設において生じた廃水銀等
	廃PCB等		7419	廃PCB等、PCB汚染物、PCB処理物